

第2期京都府スポーツ推進計画（仮称）（中間案）に対するパブリックコメント

- 1 募集期間 令和5年12月15日（金）～令和6年1月12日（金）
- 2 意見提出者数 98人 129案件
- 3 御意見の要旨及びそれに対する府の考え方

御意見の要旨	府の考え方
<p>1 第2期京都府スポーツ推進計画策定に当たって (1) 計画策定の趣旨 (2) 計画の位置づけ (3) 京都府民みんなが持ちたい「スポーツごころ」の涵養 (4) 京都府独自の新たな視点「マイスタート KYOTO-SPORT-STYLE」 (5) 計画の期間 (6) 本府におけるスポーツの捉え方</p>	
<p>1 スポーツ庁が定める「第3期スポーツ基本計画」において、一人でも多くの方がスポーツを楽しみ、スポーツを通じた健康増進やいきいきとした生活の実現に資するよう、生活の中にスポーツが取り込まれている「Sport in Life プロジェクト」の実現が目指されている。これらを達成するためにも、今回基本計画に掲げる京都ならではの「スポーツごころ」の育成は重要だと感じた。子どもから大人まで多世代・多種目にわたり、身近な地域でそれぞれの志向・レベルに合わせて、楽しみながら積極的にからだを動かせるようにするため、しっかりとしたスポーツごころを育成していただきたい。</p>	<p>計画内容に御賛同いただきありがとうございます。御意見を踏まえて、本府のスポーツ振興に取り組んでまいります。</p>
<p>2 これまでは、するスポーツに特化したような施策が多かったように思いますが、スポーツへの関わり方は近年多様になっており、京都府においても様々なスポーツへの関わり方が生まれていると感じています。今回のマイスタートの視点により、「みる」や「ささえる」方向からも京都府のスポーツを盛り上げていこうという方向性が示されており、とても素晴らしいと思います。今回示された方向性を、これからぜひ実現していただけると嬉しいです。</p>	<p>計画内容に御賛同いただきありがとうございます。御意見を踏まえて、本府のスポーツ振興に取り組んでまいります。</p>
<p>3 推進計画を策定することで、スポーツを公的にバックアップしようという姿勢は大変ありがたい。しかし、「スポーツごころ」の記述に見られるスポーツへの接し方、捉え方には、スポーツの価値を消費者的な視点で捉え、それを固定的で典型的なものとする傾向が強いように感じる。わずかに「挑戦」の項目にスポーツを通じて新たな価値観を追究しようとする、自己変革の要素が見られる。それでもスポーツに楽しく取り組む過程で熱中し、研鑽を重ねるうちに未知の自分を見いだす、いわば「自分の内なる他者」との邂逅を通じて自己改革を成し遂げる、というような側面に対する言及があっても良いと思われま。</p>	<p>計画内容に御賛同いただきありがとうございます。「スポーツごころ」は人々の前向きな「心のありよう」とそれを身に付けようとする実践の総称としています。これらの気持ちは、本文に示したものだけではなく、新たな気持ちが生まれたり、気持ちが融合したり、大きくなったり、別の行動に繋がっていくようになります。自分自身の「スポーツごころ」を一人ひとりに意識してもらい、その「スポーツごころ」をさらに高めることができるよう取り組んでまいります。</p>
<p>4 京都府民が持ちたい「スポーツごころ」の涵養とあるが、「涵養」の意味がわかりにくいように思います。他の表現に代替できないでしょうか。また、「QOL(Quality of Life 生活の質)」とありますが、「Life」は、「生活」のみならず、「人生」、「生命」などの意味もあり、スポーツ健康科学の分野においては、QOLにこれらも含むと考えます。</p>	<p>御意見を踏まえ、文言を検討します。</p>
<p>5 「マイスタート」とは、「My Start」を意味するのでしょうか。京都府は他県よりも高齢化率が高まっている現状等を考えた場合、カタカナや横文字でなく、わかりやすい表現が必要であるように思います。</p>	<p>「マイスタート KYOTO-SPORT-STYLE」は京都府独自の新たな視点であり、スポーツへの関わりを自分のことと考えるような新しい流れを提案します。しかし、「マイ」や「スタート」は広く知られている言葉であることから、中間案のとおりとします。</p>
<p>6 「マイスタート KYOTO-SPORT-STYLE」について、単語が長く、意味がわかりづらい。カタカナと英語というのも馴染みが悪く思う。加えて、SPORTという表現になじみがなくとっつきづらい。細かいところは無視して単純にSPORTSの方がまだわかりやすい。そもそも計画の中では「マイスタート」という略称が多用されており、「マイスタート」だけでよいのでは。京都スタイルというのも上にある「スポーツごころ」とどういった違いがあるのかわかりづらく、単純にややこしい。KYOTO-SPORT-STYLEという表現が本文中では他2回しか使われておらず、この表現にこだわる必要があるのかが不明です。</p>	<p>「マイスタート KYOTO-SPORT-STYLE」は京都府独自の新たな視点であり、スポーツへの関わりを自分のことと考えるような新しい流れを提案します。SPORTSの表記ではなく、すべての運動・スポーツを示す語源のSPORTとすることで、様々な運動・スポーツの中から「きっかけ」が生まれ、そこを原点として、府民それぞれの運動・スポーツが始まる「マイスタート」を表現しています。また、文化や歴史、地域資源などを活かした京都ならではの取組を推進していきたい思いをこめ「マイスタート KYOTO-SPORT-STYLE」と称しています。</p>

御意見の要旨		府の考え方
7	<p>文化的な活動としてeスポーツが充実していくことは結構なことですが、健康増進やコミュニティづくりの手段としてはふさわしくないと思います。コンピュータゲームのやりすぎによる心身や社会への悪影響について長期的な分析ができていない現状において、手放しで「eスポーツの充実を図る」と意気込んでいいのでしょうか。慎重に検討いただきたい。</p>	<p>eスポーツのスポーツへの位置付けについては、現在も議論が交わされているところです。本府では、「京都府総合計画」にも記載されているとおり、府立京都スタジアムのeスポーツエリアを活用し、大規模なeスポーツ大会を開催するとともに、選手や大会運営などの競技環境を支える人材を育成することにより、「eスポーツの聖地・京都」を目指しております。eスポーツは、子どもから高齢者、障害の有無によらず誰もが気軽に参加できるもので、本府としましてもスポーツとして明確に位置づけられるよう国にも要望しているところです。引き続き、いただいた御意見も踏まえてeスポーツが持つ可能性についての情報収集や、関係団体との連携を図ってまいります。</p>
8	<p>本府におけるスポーツの捉え方において、本文の内容は、全国とは異なる本府独自のとらえ方であり、本府において展開するスポーツの核心であると理解しています。</p> <p>eスポーツについて、「本府でもeスポーツが「する」「みる」「ささえる」といったスポーツとのかかわりを作ることができるよう研究をすすめていきます」との記載は、eスポーツがすでに「スポーツ」とは異なるとの位置づけになっており、また関りをつくるのが前提(肯定的な位置づけ)になっています。府のどちらかの組織でeスポーツをスポーツとして、前向きに位置づけることが承認されているのでしたら問題ないのかもしれませんが、そうでないのでしたら、eスポーツについては本文への記載ではなく、付記くらいの位置づけで記載した方がいいように思います。</p>	<p>eスポーツのスポーツへの位置付けについては、現在も議論が交わされているところです。本府では、「京都府総合計画」にも記載されているとおり、府立京都スタジアムのeスポーツエリアを活用し、大規模なeスポーツ大会を開催するとともに、選手や大会運営などの競技環境を支える人材を育成することにより、「eスポーツの聖地・京都」を目指しております。eスポーツは、子どもから高齢者、障害の有無によらず誰もが気軽に参加できるもので、本府としましてもスポーツとして明確に位置づけられるよう国にも要望しているところです。引き続き、いただいた御意見も踏まえてeスポーツが持つ可能性についての情報収集や、関係団体との連携を図ってまいります。</p>
9	<p>京都府が「eスポーツの聖地を目指す」ことはどちらかの組織で承認されているのでしょうか。eスポーツの効果とともに弊害(依存による健康障害など)もあるため危惧します。</p>	<p>eスポーツのスポーツへの位置付けについては、現在も議論が交わされているところです。本府では、「京都府総合計画」にも記載されているとおり、府立京都スタジアムのeスポーツエリアを活用し、大規模なeスポーツ大会を開催するとともに、選手や大会運営などの競技環境を支える人材を育成することにより、「eスポーツの聖地・京都」を目指しております。eスポーツは、子どもから高齢者、障害の有無によらず誰もが気軽に参加できるもので、本府としましてもスポーツとして明確に位置づけられるよう国にも要望しているところです。引き続き、いただいた御意見も踏まえてeスポーツが持つ可能性についての情報収集や、関係団体との連携を図ってまいります。</p>
10	<p>「スポーツ」という言葉の持つ激しさ緩和のために「運動・スポーツ」と表記するとされているが、結局計画ではスポーツと表記されている箇所が多い。明確に言葉を定義される以上、これ以降の既存の法令・計画等に記載のスポーツ以外は「運動・スポーツ」と表記すべきではないか。そもそも計画の名称を「京都府運動・スポーツ推進計画」とすべきではないのか。</p>	<p>府民の皆様は競技スポーツだけではなく、ウォーキングや自転車の乗車、階段昇降といった普段の生活の中の行動も運動と捉えやすくするため、本文中では「運動・スポーツ」と表記しています。</p>
<p>2 スポーツをめぐる社会状況の変化 (1) 社会情勢の変化 (2) 次世代につなぐ新たな仕組み (3) 第3期スポーツ基本計画</p>		
11	<p>「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う行動制限の影響で出会い、婚姻数が減少し、さらに妊娠を控える動きも強まったことが原因と考えられています。」とあるが、「妊娠を控える動きも強まった」については何か明確な根拠があるのか。参考資料として根拠を明確に示すべきではないか。</p>	<p>本文にも記載しているとおり、京都府の出生数は年々減少傾向にあり、また、合計特殊出生率も減少傾向にあります。ご意見をいただいた箇所については、その原因について、京都府の将来構想を示した「京都府総合計画」において整理されたものです。</p>
12	<p>「働き方改革は生活時間の使い方に変化を生もうとしており」とあるが、働き方改革が生もうとしているのではなく、働き方改革によって変化が生まれようとしているのではないか。「働き方改革により生活時間の使い方に変化が生まれ」ではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、文言を検討します。</p>
13	<p>「スポーツが我々の生活や社会に活力を与えるなど、優れた効果を及ぼす重要な価値を持っていることを改めて示すこととなりました」以降の文について、具体的にどういった価値が見いだされたかデータは示せないのか。オリンピックはコロナ前から実施が決定されており、「スポーツが今後の社会の活性化等に寄与する価値を改めて見いだすことができたきっかけとなりました」と言い切る根拠はあるのか。</p>	<p>この箇所はスポーツの価値について国の第3期スポーツ基本計画の記載を引用したものであることから、中間案のとおりとします。</p>

御意見の要旨		府の考え方
14	「オモシロさ」とあえてカタカナで表記する意味はあるのか。「楽しさ」「喜び」といった表現がその後に使われており、軽い、ふざけた感じに感じるが、既に定義された表現であるのか。定義されているのであれば、SPORTと同様、補足が必要ではないか。	JSP0（公益財団法人 日本スポーツ協会）の説明においても同様の表現が使用されていることから、中間案のとおりとします。
15	「支える」と漢字表記もあるなか、なぜ「ささえる」とひらがな表記なのか。「する」は漢字表記がなく、「みる」には「観る（例：観戦）」「視る（例：ドーピング監視）」といった同音異義語があるが、ささえるは「支える」一択しかないのではないか。	この箇所はスポーツの捉え方について国の第3期スポーツ基本計画の記載を引用したものであることから、中間案のとおりとします。
16	「新たな3つの視点」では視点の紹介のみですので、「この視点に基づき、京都府においても具体的な施策として次の一覧のような取組を実施していきます」というのもわかりやすいかと思われます。3つの視点が唐突に記載されている印象です。	「新たな3つの視点」と京都府の具体的施策との関わりについては、44ページに一覧表を示していることから、中間案のとおりとします。
17	4ページ②スポーツによる健康づくりにおいて、「健康づくり」には、身体的な健康と精神的な健康が含まれると思います。「心身の健康」（場合によっては社会的な健康も）にスポーツが寄与する旨、加える必要はないでしょうか。	スポーツ基本法の前文に「スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠」と規定されている旨を記載していることから、中間案のとおりとします。
18	4ページ③ライフスタイルの多様化において、現在、SNS や ICT の活用、また AI が爆発的に発展していることから、それらを活用した健康の維持増進のための運動・スポーツ、またスポーツイベントの可能性や取り組みについても記載する必要があるように思います	御意見を踏まえて、スポーツ界におけるDXの推進や新しいスポーツニーズに対応できる環境の充実を進め、本府のスポーツ振興に取り組んでまいります。
19	5ページ(2)次世代につなぐ新たな取り組みにおいて、「2スポーツをめぐる社会状況の変化」の内容として、「次世代」のみが対象となっている本項目に違和感があります。他の項目建てる必要はないでしょうか。また、(公財)日本スポーツ協会のみならず、他の組織（例：スポーツ振興センターハイパフォーマンスセンター、など）、他の団体でもそれぞれ今後のスポーツの在り方や展望が示され、期待がされていると認識しています。(公財)日本スポーツ協会の主催する大会をあげるのでしたら、他の組織の主催大会も事例として挙げる必要があるよう思います。	「日本スポーツ会議提言 2023」において、スポーツ大会の開催を通じ、国、自治体と関係団体が連携・協働し、新しい時代にふさわしいスポーツ大会のあり方を再創造し、次世代につなぐ新たなしくみへと進化させるよう提言されていることから、中間案のとおりとします。また、(公財)日本スポーツ協会では、「JAPAN GAMES」により、スポーツイベントや大会の新たな在り方の創造、進化を目指しているため、中間案のとおりとします。
20	「インテグリティ」の説明がわかりにくい。	御意見を踏まえ、文言を検討します。
3 本府の運動スポーツに関する現状と課題		
21	14ページ 8 京都府のスポーツ施設整備状況の変化において「◆完成」とあるが、未完成・建設中がなければこの表記の意味はあるのでしょうか。「◆京都府内のスポーツ施設」などの表記の方がよいのではないのでしょうか。	御意見を踏まえ、文言を検討します。
22	現状把握の部分で、成人のスポーツ関連率や運動・スポーツ好きな子どもの推移を分かりやすく丁寧に分析されていると思います。成人や子どもに限らず、スポーツに関わるきっかけ、スポーツを離れることになったきっかけ、再度スポーツに関わることになってきっかけなどの分析からアプローチできると、誰もがアクセスしやすい視点を強化できるかもしないと思いました。	計画内容に御賛同いただきありがとうございます。御意見を踏まえて、本府のスポーツ振興に取り組んでまいります。
23	令和4年度の子どもの体力の現状において京都府の平均値が全国平均値より低いことは分かるが、現行計画が策定されてからの経年比較がわからないので、改善傾向にあるのか、より深刻となっているのかがわからない。	御意見を踏まえ、表記内容を検討します。

御意見の要旨		府の考え方
4 具体的施策		
第1章 ライフステージに応じたスマートスポーツ（生涯スポーツ分野）		
24	推進指標2 スポーツイベントの参加数では、京都府民総合体育大会、またマスターズのみが対象になるのでしょうか。	京都府民総合体育大会は、府民の誰もが様々な形で集い、競技し、交流することにより、府民の生涯にわたるスポーツ活動の振興を図るとともに、地域の活性化に資することを目的として毎年開催されている大会であるため、参加者数を推進指標としております。
25	ひとり親など、家族の在り方が多様化している現在、「家族」のみならず、「地域」も加筆した方がいいように思います。	御意見を踏まえ、文言を検討します。
26	子どもたちが楽しく積極的にスポーツに取り組めるように、子育て世代の保護者へのサポートを充実してほしい。生涯にわたって気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくり、仕掛けが大切であると思う。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
27	「マイスタート」と「新たな3つの視点」が書かれている部分に興味を持ちました。スポーツへの関心期から準備期に移行するための対策として何らかのメリットがあり自らの意志でスポーツを始めることは必要不可欠であると考えます。次に準備期から実行期に移すためには、すぐにアクセスできるところにスポーツ施設があることは重要な要因であると考えます。最後に維持期に突入させるには人とのコミュニケーションが欠かせないと考えます。	計画内容に御賛同いただきありがとうございます。御意見を踏まえて、本府のスポーツ振興に取り組んでまいります。
28	子どもたちの外遊びが減りスポーツに親しむことも少なくなっていると感じている。このままでは将来的には生活習慣病に罹患する人口も増加することが予想される。是非とも推進計画に書かれているような取組を進めていただきたい。	計画内容に御賛同いただきありがとうございます。御意見を踏まえて、本府のスポーツ振興に取り組んでまいります。
29	子どもの運動離れだけでなく、親世代も時間とお金がないとなかなか運動ができない社会になっていると感じる。親子で簡単に運動を楽しめる工夫をたくさん紹介していただきたいです。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
30	「する」「みる」「ささえる」をバランスよく実践することで、より一層、健康で文化的な生活へとつながると期待する。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
31	ライフコースアプローチ(胎児期から高齢期…)は胎児期から老齢期の間違いでしょうか。	ライフコースアプローチについては、厚生労働省の「健康日本21(第三次)」での記載を引用したものであるため、中間案のとおりとします。
32	予防医学の時代で健康的な生活を続けていくためには意識的に食事と運動を調整していかないといけないと思う。けど働き世代は時間や気力、体力的に運動に時間を費や余裕は無い。スポーツイベントとか指定される期間、時間、場所とかでは参加しにくいのが実情。健康活動としてのスポーツであれば生活の「ながら」で出来ることがベストかと思う。地域の公園に運動可能な道具の設置とか商業施設とかに参加しやすい体操教室とか器具を無料で利用できるようにしていただきたい。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
33	スポーツ健康科学の分野において、健康づくりに運動の実践が推奨されていた時代から生活活動量の増加の必要性へ、その後、近年は日常生活の中での座位の時間を減らすことが推奨されていると認識しています。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
34	高齢化が進む中、スポーツを始めるきっかけとなる教室などをもっと企画し、提供していくことが必要だと思います。そこでの仲間づくりが生きがいとなり健康寿命延伸にもつながると考えます。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
35	高齢者と子どもたちの交流機会の充実はとても良いと思う。子どもたちと一緒に身体を動かしたり、子どもたちがスポーツをしているのを観戦できる場所が地域にあれば、高齢者の生きがいや、楽しみの一つになり、健康にも繋がるのではないかと思います。	計画内容に御賛同いただきありがとうございます。個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。

御意見の要旨		府の考え方
36	障害のある子どもたちが生涯スポーツにつながることを目指し、パラスポーツ、アダプテッドスポーツという枠に限らず、多様なスポーツ活動に参加するために、移動や活動の場の環境整備、サポートする人材、さらにはそういった情報の提供などを、府の計画の中にしっかりと位置づけ、広報も含めて多面的に取り組を進めていくべきだと考えます。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
37	障害者は、健常者に比べスポーツとの関わりが限定的です。この計画をとおして少しずつでも様々なスポーツに触れる（するだけでなく）機会が増えることを願っています。	計画内容に御賛同いただきありがとうございます。御意見を踏まえて、本府のスポーツ振興に取り組んでまいります。
38	障害者が日常的にスポーツに取り組めるスポーツが増えればと思います。障害があることでスポーツをあきらめてしまっているケースがまだまだたくさんあると聞きます。京都では「世界に誇れるこのパラスポーツがある」というものができればと考える。	計画内容に御賛同いただきありがとうございます。御意見を踏まえて、本府のスポーツ振興に取り組んでまいります。
39	外国人とスポーツを通じて交流を図れる機会がないかと考えていた。観光都市京都ならではのものができればとよいと考える。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
40	スポーツツーリズムは、日本全国でも広がりを見せている。登山やサイクリングなどは生涯スポーツとして国内外問わず多くの方が楽しむことができる。また、京都府全域でスポーツを通じた地域振興・地域活性化に寄与するだけでなく、「する」「みる」「ささえる」という観点からスポーツに参画できるという点でも有意義な施策ではないかと考える。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
41	子どもたちが安全に楽しくスポーツに関わる環境づくりが大切だと考える。気軽にスポーツを体験できる環境をつくるため、学校や各種団体の協力は不可欠ではないかと考える。子どもたちが自分に合ったスポーツを見つける為にも自由参加できる教室等を開催することが、スポーツ離れを防ぎ、ひいては健康寿命延長にもつながると思います。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
42	スポーツ少年団や幅広い年齢層が継続的に取り組めるスポーツイベントの年間の流れがなかなか作られていないのではないかと。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
43	市町村単位でスポーツ関係者連絡会を定期的に設定してはどうか。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
44	地域に根付いた競技種目を充実させることはとても良いことだと思うが、その地域に住んでいない場合はその競技に触れることが難しい。触れる程度で良いので、どの地域に住んでいても様々な競技ができるようにしてほしい。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
45	教える側が教員だけでなく、高校生が中学生に教えるような場面を学校同士で連携を取ったり、地域のクラブなどと連携するような取り組みを増やすことが必要だと考えます。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
46	京都府民総合体育大会の充実とあるが、地域によって参加者を確保できない、費用を負担できないなどの理由により参加できない地域がある。様々な施策が市町村によって違いがないようにしてほしい。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
47	スポーツ関連率向上には、環境づくりとスポーツメニューの工夫が大きいと考える。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
48	「退職教員等の優れた指導力を持つ人材の活用」をはじめ、シニア人材の活用、機会の提供、助成等をより充実させることもスポーツを楽しむ人の底辺拡大のために有効かと考える	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
49	31頁 柱5 国際大会を契機とした「スポーツごころ」を醸成する取組の推進において、オリンピック・パラリンピックのみならず、国際大会やWカップ日本代表の選手なども含める必要はないでしょうか。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。

御意見の要旨	府の考え方
4 具体的施策 第2章 子どもを育むエンジョイスポーツ（子どもスポーツ分野）	
50 子どもの頃から体を動かす「楽しさ」や運動・スポーツの「楽しさ」という表現があるが、基本的に計画中では「楽しさ」という表現が使われており、「楽しさ」という表現はこの1点しか表記されていない。具体的には何が違うのか不明であり、補足が必要ではないか。	御意見を踏まえ、文言を検討します。
51 子どもたちのスポーツ離れも深刻というより格差がある。スポーツに特化する前にやはりはじめの体力作りとして地域のラジオ体操が無くなってしまったのも、スポーツは得意な人のものという感覚に繋がるように思う。いずれにせよ、スポーツを特別視せず、もう一度当たり前の部分から根付かせていけないといけないのかも知れないと思う。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
52 子どもたちが運動やスポーツを好きになるためには、様々なスポーツを経験する中、楽しくてやってみようと思える気持ちを育むことが大切だと考える。そのために、勝利至上主義ではない気軽に参加できるスポーツ教室やアーバンスポーツといった新しいスポーツを体験できる場を充実してほしいと思います。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
53 子どもたちを取り巻く環境が数十年前から大きく変化し、外遊びをする子どもが減ってしまったように感じる。そのような中、運動遊びガイドブックの活用の推進という項目に非常に興味を湧いた。現在の社会環境のなか、子どもが手軽にできる運動を動画で紹介していただくと普及しやすいのではないか。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
54 やりたいスポーツに取り組めないなど環境によって子どもが不利益を被ることのないようにしてほしい。指導者の育成やクラブの立ち上げ等に関するサポート体制の充実があれば少しは進んでいくのではないかと考える。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
55 部活動の大会や合宿等での遠征費用に対する京都府からの支援を充実してほしい。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
56 「学校部活動の地域移行・地域連携」に関して、クラブチームの大会参加に係る費用に対する京都府からの支援を学校部活動と同等の補助となるようにしてほしい。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
57 現在、学校の部活で体育系の活動しているもののほとんどが、競技スポーツに関わるものが多いが、運動が苦手な生徒でも気軽に参加できるレクリエーション的な部活動を設定すると、子どものスポーツ実施率は挙がるのではないかと思う。部活動の地域移行・地域連携が進む中でスポーツの捉え方の幅が広がればと考える。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
58 これまでの部活動が学校から地域へ移行していくことで、子どもたちにとって様々なスポーツを選択できることにつながればとても良いことだと思います。中学校によっては小学校時代に行っていたスポーツが地元中学校にないため、これまで続けていたスポーツを断念せざるを得ないという状況あり、そのようなことがなくなればよいと考える。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
59 学校部活動の地域移行の仕組みや流れが分かりにくい。クラブチームで大会に参加するのか、学校の部活動で大会に参加するのか。子ども達に混乱が生じている場合もある。ルール決めを行ってくれていると思うが、具体的に、わかりやすい説明をしてもらいたい。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。

	御意見の要旨	府の考え方
60	<p>部活動地域移行に向けて、学校施設（グラウンド）の使用がかなわなければ活動場所の確保が困難。そのために、学校施設の使用の枠組みをつくっていただきたい。</p> <p>また、活動に際して、部活動で使用していた学校の備品を利用させていただきたい。毎回、器具をもって車に積んで活動場所に行くのは現実的ではないと考える。</p> <p>そして、該当校の地域（市町村）に、その種目を指導するクラブがある場合は、しっかりサポートしていただきたい。そうでなければ、地域に根ざしたクラブチームが失われていくと考える。</p>	<p>個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>
61	<p>部活動の地域移行・地域連携が進む中、部活動指導に意欲のある学校教員のスポーツ指導ができる機会が確保される体制づくりを求めます。</p>	<p>個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>
62	<p>部活動したくても、家の経済的に諦めなければいけない家庭への支援や補助などがもっとあればいいなと思います。2人親でも遠征費がキツイのに、1人親で兄弟が多い家庭などの子供は、遠征費の負担が大きいと高校、大学とスポーツを続けたくても出来ない環境の人もいますので新しく施設を作ったり買ったりするのではなくて、したくても出来ない環境下の子供達の為に何かして頂けるとありがたいです。</p>	<p>個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>
63	<p>「④ 学校部活動の地域移行・地域連携」について、2つめの○の位置がずれていること、フォントが統一されておらず読みづらいことも構成上の課題と考えられます。</p>	<p>御意見を踏まえ、体裁を検討します。</p>
64	<p>学校への出前授業や講演会等をプロスポーツ団体の方から提案し、学校側が選択できるような仕組みを作ってもらいたい。プロの選手と直接関わることによって、子ども達の好奇心やプロを目指すきっかけとなるような働きかけを行ってほしい。</p>	<p>個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>
65	<p>地域からプロ選手やトップアスリートが育つ・輩出されることは喜ばしく、地域の誇りになると思う。また、そういった選手から、直接指導を受けられる機会は、将来活躍を目指す子どもたちにとって、大きな後押しやきっかけになつなると思う。</p> <p>しかしながら、京都府出身のトップアスリートについて、私自身興味があるスポーツぐらいしか知らない。ましてや、子どもともなればなおさら知らないし、興味がないと思う。</p> <p>その競技をしてなくても、「京都にはこういうトップアスリートがいる」「このアスリートは京都出身だ」というようなPRもスポーツ推進をしていく上で重要だと感じた。</p> <p>子どもたちにとって、何より「誰もが知ってる有名人に教えてもらった！」という経験は、自慢であり、技術面だけでなく、今後生活において何かのキッカケになるはずである。そうしたキッカケを大切に、子どもたちのフィジカルリテラシーの育成に繋げていただきたい。</p> <p>府内の多くの人に認知や注目、応援されるアスリートがいるという「発信」を「柱2 京都府を拠点に活躍するトップアスリートの育成」と同時に注力していただきたい。</p>	<p>個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>
66	<p>「スポーツデイスカバリー推進支援（京都府教育委員会）」の表記から取り組みの内容を理解することが難しいように思います（内容の理解、また利用の推進を趣旨とするならば、カタカナや英語表記は避けた方がいいように思います）。</p>	<p>個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>
67	<p>エンジョイスportsの推進指標について数値で示していただくことで学校などに目標を持っていただくことができる。研修会等でも周知したい。</p>	<p>計画内容に御賛同いただきありがとうございます。</p>

	御意見の要旨	府の考え方
<p>4 具体的施策</p> <p>第3章 夢・感動を共有するチャレンジスポーツ（競技スポーツ分野）</p>		
68	<p>トップアスリートの養成やジュニア選手の発掘と育成を進めていくには指導者の養成が重要であると考えます。各競技団体の指導者の指導力アップを図るために、指導者研修会や指導者同士の情報交換会などの開催といったトップアスリートを指導する知識や技術を学ぶことができる具体的取組を充実してほしい。</p>	<p>個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>
69	<p>強い選手づくりには①底辺を広げる活動②一定レベル以上の選手を集めて育成する活動③それを見る指導者④練習する設備環境が必要だと考える。</p>	<p>個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>
70	<p>競技力向上については、幼少期からのスポーツへの関心を高めることや育成プログラムを丁寧に練り上げていくことが必要だと考える。ダイヤモンドプロジェクトの取組は非常に効果が高いと考える。</p>	<p>計画内容に御賛同いただきありがとうございます。個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>
71	<p>京都府ゆかりの選手がオリンピック・パラリンピックや世界選手権をはじめとする国際大会において活躍することで京都府民に活力や元気を与えてもらえるものと確信しており、スポーツにおける重要な施策と考える。</p>	<p>個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>
72	<p>国民体育大会は国内唯一のスポーツにおける総合大会であり、各都道府県のスポーツ振興のバロメーターである。この大会で、府内の各競技団体が一致団結し、上位入賞を目指すことは、各競技団体の競技力における底上げと指導者の育成に大きく寄与しており、今後も国体上位入賞を目指していくことは非常に重要である。 そのためにも、長期の取り組みになるが、タレントの発掘とジュニア層からの一貫指導、そして、国体トップチームにおける合宿強化は欠かすことのできない施策であると考えます。</p>	<p>個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>
73	<p>高等学校において、地方大会はもちろん、全国、世界大会で活躍できるトップアスリートを育成するためには、体系的で戦略的なトップアスリート育成システムの構築が必要だと考える。そのためには①情報収集と発掘（優れた選手を早い段階から発見する仕組み）、②プログラムの構築（発見した才能に対する適切なトレーニングや教育を行う専門の指導者やコーチを配置等）、④テクノロジーの活用（データ分析、パフォーマンス計測等）、⑤心理的サポート⑥競技団体との連携、⑦キャリアプランニング等々の要素を組み合わせることが重要で、その実現のために京都府から資金面での援助、制度の確立等の援助、他団体との連携構築をしていただきたい。</p>	<p>個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>
74	<p>子どもの減少とともにスポーツに親しむ機会が減っている様子が非常に気になる。子ども達がスポーツの素晴らしさや楽しさを知るには、地元の身近な高校生がトップレベルを目指して生き生きと生活してる姿に接し、その活躍の様子を知って刺激を得る機会が重要と考える。全ての高校生世代の選手が、自らの能力を最大限発揮できる環境を充実させる施策が、京都そして日本のスポーツ界の未来を切り開くことに繋がると考える。</p>	<p>個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>
75	<p>京都府の競技力向上を高める事で、府民にも明るい話題を提供できるのではないかと考えます。</p>	<p>御意見を踏まえて、本府のスポーツ振興に取り組んでまいります。</p>
76	<p>全国や世界の舞台で京都出身の選手が活躍している様子を報道で見るととても嬉しい気持ちになります。ジュニアトップの選手が京都を離れることなく、京都で最先端の指導を受けることができる環境が整えばと思います。</p>	<p>個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。</p>

	御意見の要旨	府の考え方
77	京都府では、国体や高校総体などの全国大会において、毎年ある程度の成績をおさめておられますが、優勝する種目は競技人口の少ないマイナーなものが多いように感じます。ダイヤモンドプロジェクトで実施される競技も同様の状況です。もっとメジャーな競技を強化し、トップアスリートを育成することに力点をおくことで、更なるスポーツ人口の増加を目指すことが必要ではないでしょうか。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
78	「本府では京都府ゆかりのトップアスリート～競技力の向上につながる」と加筆されていますが、トップアスリートが活躍できるように取り組みを進めるのでしょうか。「トップアスリート『が』活躍できるよう」ではなく、アスリートがトップアスリート『として』活躍できるよう、取り組みを進めるということかと思えます。	御意見を踏まえ、文言を検討します。
79	京都きつずの今後の展開として、修了生が社会人になった際に競技を続けられる就労支援や国際大会参加に伴う経費等を京都の企業様等にご支援いただくことにより、京都に根付いたトップアスリートの育成につながると思えます。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
80	指導者の育成も重要であり、昭和63年京都国体当時の選手が一流指導者となって京都府の競技力を支えている現状を考えると世代交代を進める必要があり、計画的かつ積極的に指導者育成を進めてもらいたい。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
81	競技を引退後、指導者として京都に戻ってきてもらうためにも指導者育成事業や支援体制の充実が急務だと考えます。現状、生徒複数名に対し指導者が少ないため、一人一人の個性に応じた指導が難しくなっています。京都のジュニアアスリートの育成やスポーツの普及にもつながると考えます。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
82	より多くの女性指導者が活躍する環境づくりを求めます。妊娠・出産などのライフイベントを経た指導者の現場復帰を促すべく、子育て政策とリンクした計画にすべきである。小さな子、特に未就学児を育てながら、子育てと仕事の両立に頭を抱える女性教員が多いはず。実際に時短や育児時間などの制度は存在するものの、活用できていれば良いですが、それが上手く活用できない、したくてもできない現状があると思う。制度を気軽に使えるような工夫を求めます。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
83	京都府ゆかり選手の活躍のために、資金面と環境面でのサポートが重要と考えられることから、今後も継続充実をお願いしたい。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。

御意見の要旨		府の考え方
4 具体的施策 第4章 「夢・未来」 スポーツ環境の充実（環境充実分野）		
84	競技の普及が難しいと感じている。来年度より国体の公開競技となることもあり、もっと多くの方にバウンドテニスを広げたい。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
85	エクストリーム・スポーツを体験・参加出来る環境作りに更なる注力をしてもらいたい。 オリンピックで日本人が活躍したスケートボードについては、パークが増加傾向にある事は喜ばしい事である。 競技人口を育むには環境の整備は重要であり、実際、他府県のパークを訪れる事を目的とする者もいるため、スポーツ観光にも発展している。 その他のエクストリーム・スポーツについては自然環境で行われる事が多く、情報発信と環境整備に注力する事は、府内外に問われないスポーツ人口に繋がる。 また、その種目においてのスポーツ観光や京都府のブランド化にも一翼を担う効果が期待される。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
86	パリオリンピックで採用されたブレイキンについて、情報発信や関わりを増やしてほしい。 ブレイキンは参加する事はもちろんだが、見る側も楽しめる競技である。 子供だけでなく大人や高齢者が参加出来るプログラムがあれば、世代をまたいだ交流も生まれ、コミュニティの活性化にも繋がる。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
87	プロバスケットチーム京都ハンナリーズが新B1の基準をクリアできるための試合会場の整備を京都市内において進めてほしい。また、京都市内に新設されることで観客のアクセスの分散化が図られると考える。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
88	1988年の京都国体開催にあわせて作られた高等学校のスポーツ施設老朽化が著しく進んでいる。施設の改装を行い子ども達の充実した練習環境を整えることで競技力向上のみならず、応援される府民の方々に勇気や感動を与えることができると考える。 また、地域の住民や小学生に施設を開放することにより、健康の保持増進や運動・スポーツへの興味関心を駆り立てる効果もあるため、老朽化した施設の改装を進めていくべきであると考えている。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
89	2万人規模の人数を収容できるアリーナの整備についても検討してほしい。全国規模の大会の開催やスポーツイベント等で活躍し、多くの人とスポーツが関わる機会ができると考える。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
90	現在、府内において1万人規模のアリーナ建設が議論されているが、府内のスポーツ施設は昭和63年京都国体当時に整備された施設が多く、老朽化が目立っている。また、当時と比較するとスポーツイベントの規模は大きく拡大しており、府立体育館や京都市体育館ですら、国際大会や大規模な国内大会を実施することは困難である。古都京都という特徴があり、京都市内に大規模な施設を建設することは容易ではないが、交通の便が良い、京都市周辺地域には建設候補地も見つかるのではないかと考えられる。スポーツだけでなく、コンサートなどのイベント、避難施設など、多機能な使用用途に対応した施設の建設を望んでいる。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
91	国体種目やインターハイ種目であるにも関わらず、公的な施設での大会実施が困難である種目（例えばウエイトリフティング等）もあり、各競技団体からの要望等も反映したスポーツ施設の新設や改修をお願いしたい。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
92	丹波自然運動公園は、京都府トレーニングセンターが設置されているなど素晴らしい設備が完備されていると思う。しかし、体育館は、老朽化が激しかったり、屋内プールがなかったりと、競技力の向上を考えたときには、まだまだ不十分であると思います。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。

	御意見の要旨	府の考え方
93	観客の収容数のある大きな施設が京都は少ない。そのため、場所の取り合いになり、マイナーな種目はなかなか使えない。プロスポーツ開催も良いが、小学生、中学生の全国大会がどの種目でも開催できるように施設環境の充実をぜひ進めていただきたい。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
94	京都府には大規模な屋内スポーツ施設や、屋外で気軽にウォーキングやサイクリングができる道路も少ないので、増やしてもらえともっとスポーツを楽しめる人が増え、健康的な生活がおくれるのではないのでしょうか。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
95	今後、京都府で開催されるインターハイの実施に向けてボクシング競技を行うことができる施設の整備をお願いしたい。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
96	近年の猛暑から熱中症対策のため体育館の環境整備（できればエアコン設置）が必要なのではないかと。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
97	学校体育館等の施設について、近年の気候状況では夏季の空調設備がない場所での教育活動は困難であり、6月～9月までの体育施設については、活発な活動ができない状況である。子どもたちの発育発達の面が心配であり、早急に対応してもらいたい。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
98	学校体育・学校部活動の活動場所についての充実を要望します。設備に投資をすれば結果が出るということではないことも十分承知をしております。ただ、建設から40年ほど経過し、フロアの広さや天井の高さ、空調機能の面で競技力向上を期待できない、あるいは安全性も補償できない（夏場などは使用する時間帯の工夫を要する）ような体育館もあります。京都の競技力については学校現場が担っている側面も大きく、その学校現場のスポーツ環境を整えていただくことは“京都府の全ての子どもたちへの投資・還元”につながると考えています。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
99	近隣府県と比較しても、京都府のスポーツ施設が貧弱である。数も規模も更なる充実を検討いただきたい。特に体育館やアリーナなど室内競技ができる環境の充実をお願いします。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
100	競技スポーツの練習場所が空いた時間は生涯スポーツ層に開放すれば、費用への理解及び健康促進（予防医学）にも繋がると考える。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
101	大きな運動施設を新たに建設するよりも、子どもたちが気軽にボールを使用できるグラウンドをたくさん作ってほしい。そのようなグラウンドが少ない。	府立都市公園においては、他の来園者に危険を及ぼさない範囲で自由に利用いただいております。また、府立学校においては、学校教育に支障のない範囲において、「京都府立学校体育施設開放事業」を実施しており、広く府民のスポーツ活動に貢献できるよう普及推進に努めています。
102	芝生で活動したり、遊ぶことができる施設や公園を増やしてほしい。その施設で広々と活動できれば、スポーツの参加者は増えると思います。	府立都市公園においては、他の来園者に危険を及ぼさない範囲で自由に利用いただいております。また、府立学校においては、学校教育に支障のない範囲において、「京都府立学校体育施設開放事業」を実施しており、広く府民のスポーツ活動に貢献できるよう普及推進に努めています。
103	子ども達が安心してスポーツや遊びを楽しめる場所が少ない。公園でもボール遊びができる場所が非常に少ない。施設や環境が整っていないので、外遊びも減少し、体力低下につながってきていると感じる。子ども達が安心しておもいっきり遊べる場所を増やしてもらいたい。	府立都市公園においては、他の来園者に危険を及ぼさない範囲で自由に利用いただいております。また、府立学校においては、学校教育に支障のない範囲において、「京都府立学校体育施設開放事業」を実施しており、広く府民のスポーツ活動に貢献できるよう普及推進に努めています。
104	子どもの遊び場が少ないと思います。近くの公園は、ボール遊び禁止、騒ぐの禁止で、通っている小学校では放課後スポーツをすることはできません。高い月謝を払って習い事としてスポーツをすることしかできない現状です。児童公園をスポーツを楽しめる環境にし、小学校の平日、土日に開放してほしい。	府立都市公園においては、他の来園者に危険を及ぼさない範囲で自由に利用いただいております。また、府立学校においては、学校教育に支障のない範囲において、「京都府立学校体育施設開放事業」を実施しており、広く府民のスポーツ活動に貢献できるよう普及推進に努めています。

御意見の要旨		府の考え方
105	運動がいつでも、どこでもできる環境の整備が必要であると考える。現在は、公園で「ボール遊び」等を禁止しているところが多く、子どもたちは、ボール遊びの出来る環境を探している。土日も小学校やボール遊びのできる広場などは、地域のスポーツクラブの活動で優先的に使用されている。気軽に子どもたちがボール遊びのできる環境の整備を行ってほしい。	府立都市公園においては、他の来園者に危険を及ぼさない範囲で自由に利用いただいております。また、府立学校においては、学校教育に支障のない範囲において、「京都府立学校体育施設開放事業」を実施しており、広く府民のスポーツ活動に貢献できるよう普及推進に努めています。
106	地域の広い公園が休日に少年野球やサッカーで使用出来ない事が多く、親子や友達でのコミュニケーション不足・総合的な運動神経の低下に繋がっていると感じます。ジュニアアスリートなど限られた一部を育てるだけでなく、皆が気軽に運動できる場所を作ってほしい。	府立都市公園においては、他の来園者に危険を及ぼさない範囲で自由に利用いただいております。また、府立学校においては、学校教育に支障のない範囲において、「京都府立学校体育施設開放事業」を実施しており、広く府民のスポーツ活動に貢献できるよう普及推進に努めています。
107	府内のスポーツ施設が誰もが気軽に使いやすくなるように、老朽化への対応や、ユニバーサルデザイン化など、施設の充実を行ってほしい。	誰もが使いやすく気軽にスポーツを楽しめる施設や環境として、環境整備の充実を図るとともに、既存施設の洋式トイレ化や段差解消などといったバリアフリー化を進め、インクルーシブな空間にする環境づくりを推進します。
108	安全で持続可能な地域スポーツ環境の充実に期待したい。既存施設が自由に利用できるオープンさも大切にしたい。河川敷の整備にも期待したい。京都には運動公園など子供が遊べる遊具や体力づくりができる大きな公園がいくつかあるが、公園までの移動が億劫になり近くの小さな公園や公道でのランニングなど、近場で済ませることが多い。京都市周辺には数多くの河川があり、身近な河川敷をきれいに整備し運動公園やランニングコースの設置などができれば、より多くの府民が運動に触れる機会に繋がる。雑草が多く整備されていない河川敷も多いため、少しでも子供が集まるよう遊具の設置やきれいに整備されることを望む。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
109	「ささえる」部分のスポーツ人口をどう増やすか課題が多いと考える。	御意見を踏まえて、スポーツ大会やスポーツイベントの運営を支えるボランティア団体の活動内容、スポーツボランティアの魅力ややりがい等の発信を積極的に行いスポーツを「ささえる」人材の確保を進めます。
110	ボランティアであることを認識する必要はあるのでしょうか。むしろ、ボランティアと認識しないで活動していることの方が望ましい（期待される）ように思います。（近所の子どもの世話はボランティアなのか、など実際にボランティアの定義づけは難しい）。	ボランティアに多くの人々が関わるためには、やりがいや楽しさなどの魅力を伝えるとともに、スポーツボランティアに対する理解と認識を広めることで、これらの情報が多くの人々に浸透し、新たな参加者の増加につながるものと考えています。
111	プロを目指しているアスリートだけでなく、アマチュアの方々や健康になりたいとスポーツを行っている方々に栄養面の知識を伝える場が大切と考えます。安全にスポーツでき、もっと結果にコミットするのではないかと考えます。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
112	スポーツの観戦、スポーツに触れる機会が大切であると考えてるので、そのような機会を充実させられる取組を実施してほしい。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
113	最近では運動着に着替えることなく、体を動かせるジムが人気ですが、そのように気軽に体を動かす機会（動画配信等も含めて）を増やしていただきたいです。	個別の施策に関する御意見につきましては、今後の施策・事業検討の際の参考とさせていただきます。
114	「スポーツごころ」として「公正」も挙げられていることから、近年、スポーツにまつわるハラスメントや薬物の利用、資金の使い込み、談合などの不祥事を回避する必要性についてもっと記述する必要はないでしょうか。	スポーツ団体等の組織体制の充実に向けて府内の体育・スポーツ関係団体におけるガバナンスの強化に向けた取組を進めるとともに、あらゆるハラスメントや体罰・暴言等の根絶など、スポーツ・インテグリティの向上に努めてまいります。

御意見の要旨		府の考え方
5 計画を推進するために		
115	SNSを通じて繋がるが多いため、リスクはありますがSNSでの情報の発信もスポーツを知ってもらう上では必要なのではと考えます。	府民の皆様が様々な形でスポーツに関わることができるよう、本計画の内容や取組状況について、広く周知・広報を実施します。その際、広報すべき内容に応じて、情報発信のタイミングや、対象となる年齢層、府民のニーズや社会の動向等を意識した広報ツール（リーフレット、SNS、動画配信サービス等）を適宜活用してまいります。
116	運動をしなければならないと思いつつ、実際に行動に移せないのが現状ですが、ここまで運動するきっかけが充実されているとは知りませんでした。学生の頃は、スポーツイベントのお知らせが学校に掲示されていたり何かと目に留まるが多かったのですが、社会人になると自ら動かなければ情報を手に入れることができなくなりましたので、社会人にも自然と目に留まるような広報をして頂きたいです。	府民の皆様が様々な形でスポーツに関わることができるよう、本計画の内容や取組状況について、広く周知・広報を実施します。その際、広報すべき内容に応じて、情報発信のタイミングや、対象となる年齢層、府民のニーズや社会の動向等を意識した広報ツール（リーフレット、SNS、動画配信サービス等）を適宜活用してまいります。
117	京都府がスポーツに力を入れているとか広報とか興味もつ時間が無いので何かあっても知らない。何かイベントがあるならば宣伝の工夫も必要かと思う。	府民の皆様が様々な形でスポーツに関わることができるよう、本計画の内容や取組状況について、広く周知・広報を実施します。その際、広報すべき内容に応じて、情報発信のタイミングや、対象となる年齢層、府民のニーズや社会の動向等を意識した広報ツール（リーフレット、SNS、動画配信サービス等）を適宜活用してまいります。
118	数値目標達成するためには、どんな取り組みをしてるかもっと知ってもらう必要があると思う。	府民の皆様が様々な形でスポーツに関わることができるよう、本計画の内容や取組状況について、広く周知・広報を実施します。その際、広報すべき内容に応じて、情報発信のタイミングや、対象となる年齢層、府民のニーズや社会の動向等を意識した広報ツール（リーフレット、SNS、動画配信サービス等）を適宜活用してまいります。
119	SNSを活用して意見を集め、活動を広めてほしい。LINEの公式アカウント(AIで応答できたら)、インスタグラム、Twitterなど	府民の皆様が様々な形でスポーツに関わることができるよう、本計画の内容や取組状況について、広く周知・広報を実施します。その際、広報すべき内容に応じて、情報発信のタイミングや、対象となる年齢層、府民のニーズや社会の動向等を意識した広報ツール（リーフレット、SNS、動画配信サービス等）を適宜活用してまいります。
120	子育て世帯から高齢者まで誰しもスポーツを楽しめる機会をつくっていくことはとても大事ですが、それと同等以上に情報発信が大切だと思います。P19の具体的政策⑤にもあるように食イベントなど何か他の集客イベントの情報発信と併せてスポーツの取り組みも行うなど、情報発信について積極的にSNSやラジオ、チラシ、TVなどで発信していければ参加者も広がり、スポーツに触れる機会が増えるかと思えます。	府民の皆様が様々な形でスポーツに関わることができるよう、本計画の内容や取組状況について、広く周知・広報を実施します。その際、広報すべき内容に応じて、情報発信のタイミングや、対象となる年齢層、府民のニーズや社会の動向等を意識した広報ツール（リーフレット、SNS、動画配信サービス等）を適宜活用してまいります。
121	年度毎のマイルストーンを引いて計画する事や種目を絞る等の工夫が必要か考える。	計画に基づく各取組の進捗状況、成果や課題等を府教育委員会が取りまとめ、京都府スポーツ推進審議会に諮り、計画の有効性を高めながら、次年度以降の取組に反映させ、効果的な推進に努めてまいります。
122	推進指標を設定して、点検・評価することは必要不可欠ですが、他方、指標の設定が難しい事実があるように思います。本計画の推進指標は、どのように設定する（設定されている）のでしょうか。	第3期スポーツ基本計画で示された目標数値や本府のスポーツに関する現状と課題を参考に指標を設定しています。

御意見の要旨		府の考え方
6 その他		
123	記載内容の具体的施策は総花過ぎて何にフォーカスしようとしているのか不明瞭と読み取れた。	府民の皆さまに分かりやすく伝える手立てとして、本計画のリーフレット版を作成します。
124	内容が多岐にわたり資料が膨大になりすぎて、全体を読める人は限られると思いました。	府民の皆さまに分かりやすく伝える手立てとして、本計画のリーフレット版を作成します。
125	計画が細かすぎて一般府民はまず読む気にならないと思います。一枚ものリーフレットみたいな形式で分かりやすい資料ができないでしょうか。	府民の皆さまに分かりやすく伝える手立てとして、本計画のリーフレット版を作成します。
126	わかりやすいポスターに簡単に要綱をまとめる。長くて読むのが嫌な人も多そう。	府民の皆さまに分かりやすく伝える手立てとして、本計画のリーフレット版を作成します。
127	目次に書かれているページ数が本文とあっていない (P44)	御意見を踏まえ、体裁を修正します。
128	第1章が唐突にはじまりますが、「次のページから具体的施策について記載します」といった導入のようなページが必要ではないでしょうか。第1章以降、箇条書き的というか羅列されているような唐突感が感じられます。「各章別に施策目標を掲げ、その目標達成のための推進指標を定め、その指標達成に向けた具体的な取組として柱を定め、その柱の中で現状と課題、具体的施策について記載しています」というような構成の説明ページがあれば理解が深まると思います。加えて、具体的な施策の星取表を最初にもってくるなど、全体像をまず示した方がよいのではないかと思います。	具体的施策が一目でわかるように第1章のはじめに施策体系図を記載します。
129	現状と課題との連結感が上から読んでいくとつかみづらいです。計画を俯瞰的にどういった課題にどう施策を結び付けているか、別途資料で連結図を作成した方がわかりやすいと思われます。課題把握に対する施策に漏れがないか、更に充実した取組を実施するのか、といったことが一目でわかればよいかなと思われます。	具体的施策が一目でわかるように第2章のはじめに施策体系図を記載します。